

令和8(2026)年度

運営に関する計画
自己評価

大阪市立磯路小学校

令和8年4月

大阪市立磯路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

I 学校運営の中期目標

現状と課題

令和7年度大阪市小学校学力経年調査の結果より、学校(3~6年)として4教科(国・社・算・理)の標準化得点は、大阪市の平均と比較し、3・5年生が上回り、4・6年生がやや下回った。(3年生:100.4、4年生:98.1、5年生:102.6、6年生:97.3)

6年生の全国学力学習状況調査では、全国平均を100とすると、本校のR3→R4→R5→R6→R7への推移と見ると、国語科95.8→103.7→96.7→92.0→88.3、算数科96.9→99.7→96.0→91.4→90.0という結果となった。

研究においては、令和5・6年度は国際理解教育を研究領域として位置づけ、「互いの人権を尊重し、多様性を認め合い、共に生きる子どもを育てる」を研究主題とし、令和7年度はその成果を継承し、「対話を通して課題解決する力を育てる~楽しく学ぶ社会科授業デザイン~」を研究主題にして授業実践を積んできた。このように、対話を通して納得解を導く学習活動を通して、子どもたちには数値では表れない非認知能力(仲間と協力する力、自分たちで考えて行動する力、失敗をおそれずチャレンジする力)が確実に育っている。これまでの学校教職員の取り組みと家庭との連携、地域の協力の積み重ねがあり、安全・安心な環境で児童は学校生活をおくることができている。

児童が安心して学校生活をおくるためには、学級の雰囲気非常に重要である。自分の存在が認められ、仲間の存在を大切にできる価値観のある場で過ごすことにより、自己肯定感を持つことになる。「だれもが安心して自分の考えや思いを主体的に話せる学級の雰囲気づくりをめざす」ことを重点的な取り組み内容とする。学校生活アンケートで「自分にはよいところがある」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合はR5:85.9%→R6:86.8%→R7:89.0%と年々高くなっている。しかし、逆に11%の児童は、「自分にはよいところがない」という思いをもっている。全ての児童が自己肯定感をもてるようにし、人間関係を良好にするための取り組みを充実させていく。

また、外国からの編入生も年々増加かつ多様化し、日本語指導のみならず母語母文化保持と、異文化理解・多文化共生教育によりいっそう力を入れる必要がある。

一方、学びを支える教育環境の充実については、今年度も積極的な取り組みを継続し、低学年においては、児童の協働学習ツール skymenu cloud を活用した授業も充実してきた。高学年については、Google workspace の活用もすすみ、タブレット端末の家庭での持ち帰りも定着化している。

今年度より「チーム担任制」を導入し、学級担任の業務量過多や孤立化を防ぎ、教職員自らが対話を通して責任と仕事を分かち合い、多面的な理解を深め、児童・保護者との多様な関わりを実現することで、心身ともに健全な働き方改革をめざそうと動き始めた。

いつも・そこが・じぶんの居場所「い・そ・じ」を学校挙げて具現化していきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和11(2029)年度の見守りアンケートにおける「この学校に通ってよかったと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を95%以上にする。

(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

○令和11(2029)年度の見守りアンケートにおける「この学校に通わせてよかったと思いますか。」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を95%以上にする。

(基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和11(2029)年度の全国学力・学習状況調査における平均正答率の対全国比を、国語も算数も1.00以上にする。

(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)

○令和11(2029)年度の全国体力・運動能力習慣等調査における体力合計点の対全国比を男女とも1.00以上にする。

(基本的な方向4 健やかな体の育成)

【学びを支える教育環境の充実】

○令和11(2029)年度の学力経年調査における「学習者用端末を活用して、調べた情報をもとに、課題を解決するために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。

(基本的な方向6 教育DXの推進)

○教員の1か月あたりの平均時間外勤務を20時間以下にする。

(基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

○令和8（2026）年度の学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

（基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現）

○令和8（2026）年度の学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

（基本的な方向2 豊かな心の育成）

○令和8（2026）年度の学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切にし、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができているか。」に対して肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。

（基本的な方向2 豊かな心の育成）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和8（2026）年度の学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を70%以上にする。

（基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上）

○令和8（2026）年度の学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。

（基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上）

○令和8（2026）年度の学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）スポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

（基本的な方向5 健やかな体の育成）

【学びを支える教育環境の充実】

○令和8（2026）年度の学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友達と共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。

（基本的な方向6 教育DXの推進）

○時間外勤務について、月100時間を超えて勤務する教員をゼロにする。

（基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり）

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立磯路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>○令和8(2026)年度の学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 (基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現)</p> <p>○令和8(2026)年度の学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 (基本的な方向2 豊かな心の育成)</p> <p>○令和8(2026)年度の学力経年調査における「いろいろな国や地域の文化や言葉のちがいを大切に、困ったことや問題を解決するなどして、つながりを深めることができているか。」に対して肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。 (基本的な方向2 豊かな心の育成)</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>みんなが気持ちよく安全に学校生活を送るために、学校のルールを守るという意識を育てる。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活アンケート」(児童向け)の「時間を守って動いている」の項目で「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する児童(全学年)の割合が90%を超えるようにする。 低学年(チャイムの鳴り始めで動く) 中学年(チャイムが鳴り終わるまでに座る) 高学年(チャイムで授業が始まる) 	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の特性や家庭の背景を理解する力を高める。 ・Q-U「楽しい学校生活を送るためのアンケート」を実施し、学級集団の分析や児童理解を深める。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童理解の機会を、チームで毎週行い全体でも毎月1回以上設ける。 ・2回目のQ-Uにおいて学級生活不満足群の割合を1回目より減らす。 	
<p>取組内容③【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>「防災計画」に基づき、災害に対する意識を高め、命を守るために適切な行動がとれるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災・地震(津波)・防犯・引き渡しの訓練(台風)を年5回実施する。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・地域と協力して防災教室を実施する。 	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>だれかとの比較ではなく自分ならではの良さを知り、自己肯定感を高める。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学校生活アンケート」（児童向け）の「自分にはよいところがある。」の項目で、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答する児童（全学年）の割合が、90%を超えるようにする。 	
<p>取組内容⑤【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>人権を尊重する教育を推進する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育年間指導計画を作成し、系統立てた取り組みを行い、相互交流の場を年1回以上設ける。 ・各学年で国際理解教育の取り組みを年1回以上行う。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>今後の改善点</p>	

大阪市立磯路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○令和8(2026)年度の学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を70%以上にする。</p> <p style="text-align: center;">(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)</p> <p>○令和8(2026)年度の学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。</p> <p style="text-align: center;">(基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上)</p> <p>○令和8(2026)年度の学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)スポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。</p> <p style="text-align: center;">(基本的な方向5 健やかな体の育成)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>普段の授業を中心に、話し合う活動を充実させる。表現(書いたもの、意見、作品など)の交流、相互評価を積極的に行う。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケート(児童向け)「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>児童が興味をもち、他教科との教科横断的な学びができるようにする。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケート(児童向け)の項目「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できる喜びや達成感を感じられる学習 ・活動を通して運動への意欲を高める。意欲的、協働的な姿(互いに励まし合う姿、作戦を話し合う姿、休み時間に進んで練習する姿など)を個々に評価する。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校評価アンケート(児童向け)の項目「運動(体を動かす遊びを含む)スポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立磯路小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○令和8(2026)年度の学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友達と共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を60%以上にする。(基本的な方向6 教育DXの推進)</p> <p>○時間外勤務について、月100時間を超えて勤務する教員をゼロにする。(基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①</p> <p>【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>ICTを活用した児童の「協働的な学び」を推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> Google workspace や Skymenu Cloud、CANVA 等の協働学習ツールを活用し、児童が自分の考えや意見を伝えたり、友だちと考えを共有したり比べたりする授業の展開を充実させていく。 学年に応じた協働学習ツールの活用の在り方を模索し、1日1回、授業における協働学習ツールの活用を目標とし取り組んでいく。 児童のICT活用能力(基本操作能力、インターネットを活用した情報収集、Google workspace や Skymenu Cloud、CANVA の基本操作能力等)を向上させる。 校内ICT研修会で教職員のICT活用指導力を向上させる。 	
<p>取組内容②</p> <p>【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】</p> <p>教育データの蓄積・活用を推進する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 「心の天気」(児童の心の状態の可視化)の入力を毎日実施し、日々の入力率を80%以上にする。 児童のデジタルドリルの活用結果(スタディログ)から、児童の学習理解度を把握し、授業内容の計画に活かす。 	
<p>取組内容③ 【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>働き方改革を推進し、作業の効率化を図る。</p> <hr/> <p>指標</p>	

<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員配付文書等のペーパーレス化を推進する。(SKIP 連絡掲示板等の活用) ・ 職員会議や部会にかかる時間の短縮化を図る。(要点や変更点のみ伝える等) ・ チーム担任制により、個人の業務量過多を防ぐ。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

令和8年度 学校関係者評価報告書

大阪市立磯路小学校 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標:
年度目標:

3 今後の学校園の運営についての意見

--